



住宅火災に要注意!

住宅防火10の心得



住宅火災の死者の7割が高齢者です!

東京消防庁管内では、過去5年間に住宅火災により約360名の方が亡くなっています。年齢を重ねると、火災に気がつきにくかったり、避難が遅れたりするなど、リスクが高まります。まずは、火災の発生危険が高い場所を知って火災を起こさないようにしましょう。

火の出る場所を知ろう!

出火原因が最も多い
こんろ

- 調理中はこんろから離れない
- こんろの周囲は整理整頓する

火を使っていなくても危険
ストーブ

- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時や就寝時は必ず消す

身近に潜み、知らない間に出火
コード・テーブルタップ

- タコ足配線をしない
- コードの上に家具などを置かない

住宅火災の死者が最も多い
たばこ

- 寝たばこは絶対にしない
- 吸い殻は水を使って確実に消す

火を消す備えをしよう!

もしもの時の…住宅用消火器

いざという時に確実に火を消せるよう消火器を準備しておきましょう。小型で軽量の住宅用消火器や片手でも使用できるスプレー式のエアゾール式簡易消火具があります。



秋の火災予防運動

11月9日(木)～11月15日(水)

秋の火災予防運動に伴い、元K-1世界チャンピオンの魔裟斗さんを一日消防署長にお迎えし、火災予防を呼び掛けます。詳細は特設ページをご覧ください。

